

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	テ-マコード <sup>*</sup> (参)	F I	(21)特願平11-150927
E01D 19/02		2D059	E01D 19/02	
21/00		2E176	21/00	(22)平成11年(1999)5月31日
E04G 23/02			E04G 23/02	F

【Fターム】2D059 AA03 GG02 GG05 GG40 GG55  
2E176 AA04 BB29

(71)出願人 東急建設株式会社  
(71)出願人 財団法人鉄道総合技術研究所  
(72)発明者 岡本 大(外8名)

東京都渋谷区渋谷1丁目16番14号  
東京都国分寺市光町2丁目8番地38

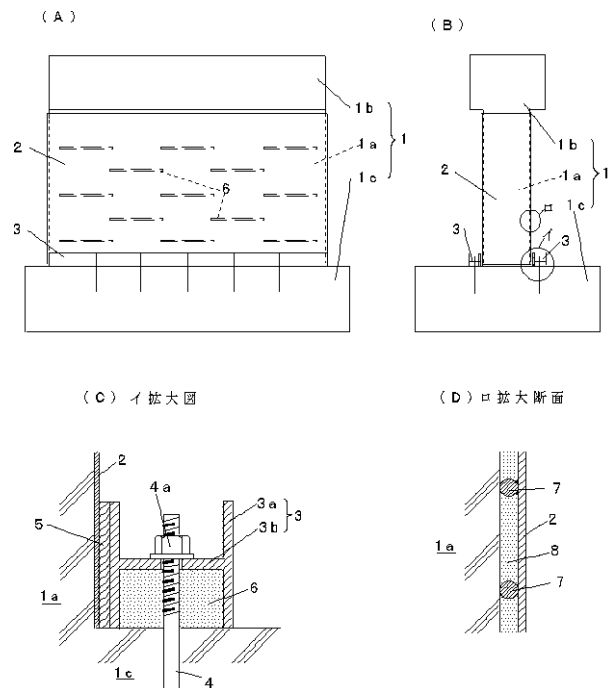
[ 続きあり ]

(54)【発明の名称】橋脚の耐震補強工法

(57)【要約】

【課題】躯体に貫通孔を開けたりフーチングの補強をすることなく、主鉄筋の座屈を防止したり、躯体基部のせん断ずれを防止することが可能で、また、段落とし補強を向上せしめることが可能な橋脚の耐震補強工法を提供する。

【解決手段】橋脚1の躯体1a周囲を鋼板2により巻き立てて耐震補強する工法において、上記躯体1aの基部における上記鋼板2の外側の橋軸直角方向にH型钢3を沿設すると共に、該H型钢3をアンカー鉄筋4によりフーチング1cに定着し、さらに、上記鋼板2とH型钢3を縁切りする。



【産業上の利用分野】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明は、橋脚の耐震補強工法に関するものである。

【特許請求の範囲】

【請求項1】 橋脚の躯体周囲を鋼板により巻き立てて耐震補強する工法において、上記躯体の基部における上記鋼板の外側の橋軸直角方向に型钢を沿設すると共に、該型钢をアンカー鉄筋によりフーチングに定着し、さらに、上記鋼板と型钢を縁切りすることを特徴とする橋脚の耐震補強工法。

【請求項2】 上記型钢がH型钢であることを特徴とする請求項1に記載の橋脚の耐震補強工法。

【請求項3】 上記縁切り部に発泡スチロール等の縁切り材を介挿することを特徴とする請求項1または2に記載の橋脚の耐震補強工法。

【請求項4】 橋脚の躯体周囲を鋼板により巻き立てて耐震補強する工法において、上記鋼板の内側にズレ止め手段を設けたことを特徴とする橋脚の耐震補強工法。

【請求項5】 上記鋼板の内側にズレ止め手段を設けたことを特徴とする請求項1、2または3に記載の橋脚の耐震補強工法。